

## ◇今後への備え

現在、台風12号が上陸し各地で対応に追われていることと思います。

ここ数年は特に地震、豪雨、台風などの自然災害が多く、また、そのひとつひとつが甚大な被害をもたらすことも少なくありません。

私たち行政の職員においても、ここ数年で避難所開設の回数が増えたなあ・・・と感じる人も多いのではないのでしょうか。

もちろん、各地域で差はあるとは思いますが、今後は防災意識の向上や早目の災害対応の観点から、これまで以上に避難所開設等が増えていく事が予想されます。

当然ながら、昼夜を問わず対応していく訳ですので、組合としても組合員の環境を守るために十分な対応が必要だと感じています。

また、避難所には身の危険を感じて住民の方々が来られますが、皆さん不安を抱えて時間を過ごされています。

そんな住民の皆さんと会話をしながらコミュニケーションをとっていくのも私たちに課せられています。

普段はあまり意識しないのですが、会話能力ってすごく大事ななあ～て実感する瞬間のひとつです。

幸いな事に、普段からおしゃべり過ぎる私は全く苦にしないのですが、市外出身の若手組合員にとっては方言の壁も重なって、かなり苦勞をしているようです。

コミュニケーションをとらないと・・・つと、頭では分かっているけど行動や言動に移せないことが多いそうです。

言われてみれば、確かにおしゃべりな自分にもそんな時期があったなあ～と・・・(笑)

今こうして自分がいられるのは、きっと経験によるものが大きいんだと思います。

であれば、組合でも経験できる場を多く作ってあげればいいんだ!!という事で、方言の勉強や色んな組み合わせでの懇親会を実践中です!(^^)!

どういう効果をもたらすか楽しみですが、今後の業務や災害対応に寄与してくれることを願います。

日直

まさき

